

道の駅「大歩危」(徳島県三好市) 企画概要 <既設>

おおほけ

みよし

○ミシュラングリーンガイド・ジャパンでも紹介されている「祖谷溪」や名勝指定された「大歩危・小歩危」等数々の観光資源の玄関口である道の駅「大歩危」にて、インバウンドに対応した、ゲートウェイ(観光拠点)としての案内機能強化や周遊観光機能整備を図る。
 ○DMO団体、四国風景街道などと連携し地域資源を活かした観光を推進し、周遊・滞在型観光を推進する。



<提案の先駆性・ポイント>

- 道の駅「大歩危」を窓口とし、にし阿波～剣山観光圏(三好市、美馬市、東みよし町、つるぎ町)を地域DMO「そのの郷」及び、四国風景街道「三好市秘境ロマン街道推進協議会」と連携し、観光施設の情報を一体的に発信、地域全体のゲートウェイとして、周遊・滞在型観光を推進する。
- 「過疎地域自立活性化優良事例」に認められた「山城・大歩危妖怪村」と連携し、「妖怪」を活かした観光地づくりを行い、滞在時間の増加、周遊観光を図る。

<実施内容>

- 外国人観光案内所機能強化(L1からカテゴリⅡへの格上げ)
- JR大歩危駅との連携 外国人観光客の安全な誘導
- 地域伝承である「妖怪」を活用した観光案内板や多言語案内板の整備
- 外国人旅行者へ「周遊バス」の実証実験により、二次交通の整備促進
- 防災備蓄(食糧、毛布)等の防災機能の強化